

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	接合部防水小委員会	主 査 名：小野 正
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (防水工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	各種建築物および住宅の外壁接合部における水密性を確保するための接合材料 (シーリング材、ガスケット) 防水構法について、調査研究する。 2003 年度は、耐久性を定量的に明らかにするための評価試験方法を考案し、そのトライアルに着手した。また、住宅接合部のクレーム情報を収集分析した。	
委員構成 (委員名(所属))	小野 (清水建設)、大澤 (竹中工務店)、山田 (ハザマ)、吉池 (千葉大)、角田 (大成建設)、添田 (フジタ)、菊池 (戸田建設)、菊池 (旭硝子)、佐々木 (ショックベトン)、千葉 (YKKap)、岩田 (横浜ゴム)、服部 (理建工業)、野口 (マサル)、上野 (北星ゴム工業)	
設置 WG (WG 名：目的)	住宅接合検討 WG：住宅の接合構法を調査研究し、指針改定の基礎資料とする 新材料・構法検討 WG：最新の接合材料・構法を調査研究する 耐久設計検討 WG：耐久性評価と耐久設計にかかわる調査研究を推進する	
2003 年度予算	1 0 0 , 0 0 0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小委員会：6 回 ・ 住宅接合検討 WG；8 回 ・ 耐久設計検討 WG；16 回
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>住宅接合検討 WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまなクレーム情報を収集分析し、検討報告書を執筆した。 <p>新材料・工法検討 WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は、活動を休止 <p>耐久設計検討 WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シーリング構法については、汚染性評価、接着性評価、耐久性評価の試験方法案を作成し、実験を推進した。 ・ 上記試験結果の一部を 2003 年度学会大会に報告するとともに第 2 回防水シンポジウムで報告した。 ・ ガスケット構法については、耐久性評価に重点をおいて試験方法を検討し、作成した評価方法案に基づいて実験に着手した。
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>住宅接合検討 WG：クレーム情報の収集分析により、品質問題の発生状況を把握でき、その防止策を検討できた。当初の目的を達成できたと判断され、当 WG は、今年度で廃止する。</p> <p>新材料・工法検討 WG：活動休止</p> <p>耐久設計検討 WG：耐久性評価法を検討しつつ評価試験を継続的に実施し、その成果の一部は、学会大会と防水シンポジウムで報告し、当初目標は十分に達成している。</p>
その他評価すべき事項	特になし